

平成28年度予算編成 に向けての要望書

平成27年10月20日

甲斐市議会決算審査特別委員会

甲斐市議会においては、昨年度に引き続き、決算審査特別委員会での審査を基に、「平成28年度予算編成に向けての要望書」を提出することとなりました。

平成26年度決算において、歳入では、地方交付税について、前年度と比較して3.5%の増となっていますが、今後5年間の経過措置である激減緩和期間を経て平成32年度には、合併後の状態である一本算定の額が交付されることとなり、約12億6千万円の減額が予想されます。

また、歳出では、少子高齢化が進む中、経常的経費が2.7%増加し、人件費、扶助費、公債費等の増加により、財政運営は一層厳しさを増すものと見込まれ、変化に対応した事業の取捨選択と整理統合により、計画的な事業の推進が必要となっております。

決算審査特別委員会では、決算審査等で出された意見を踏まえ、各常任委員会から提出された新年度予算への要望に対して、本委員会において意見の一致をみました7事業について、要望をさせていただくことといたしました。

については、本要望等を参考にいただき、見直すべきものは見直し、より効果的な新年度予算編成に取り組まれることを願うものであります。

甲斐市議会 決算審査特別委員会
委員長 清水 正二

事業項目一覧

	事業項目
1	公共施設の土地の賃借料等について
2	玉幡公園総合屋内プール運営費について
3	竜王庁舎維持管理事業について
4	将来のごみ処理に関する研究、検討費用について
5	社会福祉協議会職員人件費補助金について
6	下水道整備事業について
7	イベント事業の見直しについて

1 公共施設の土地の賃借料等について

毎年土地の賃借料等を計上している公共施設においては、契約期限もあるが、このまま支払いをしていくと莫大な支出となる。

特に、竜王庁舎職員駐車場、竜王西小学校用地、竜王中学校テニスコート用地及び竜王南部公民館駐車場用地については、順次買取り等を踏まえ、今後の方向性を検討し、予算の削減に努めること。

2 玉幡公園総合屋内プール運営費について

この施設の指定管理者の年間支出額は、約8千700万円であり、市では、指定管理料の4千250万円を含めて、年間で約5千690万円の多額な一般財源を支出している。

行財政改革を推進しているが、このような多額の維持管理経費を必要とする施設については、大きな見直しを図ること。

3 竜王庁舎維持管理事業について

災害時には、竜王庁舎が防災の情報等の拠点となる。竜王庁舎の予備発電設備については、本館は庁舎の裏の建物にあり、新館は地下に設置してある。

昨今の豪雨などにより竜王庁舎の浸水も考えられることから、予備発電設備の設置場所を見直す必要がある。

4 将来のごみ処理に関する研究、検討費用について

本市のごみ処理については、中巨摩地区広域事務組合、峡北広域行政事務組合の2広域事務組合で行っている。将来の一本化も踏まえ、検討委員会などを行政内に立ち上げ、各部署が横断的、実効的に研究、検討をするための予算付けをすること。

5 社会福祉協議会職員人件費補助金について

社会福祉協議会は、福祉や高齢者などの業務を担う部分が大きく、事業も拡大している。安定的に運営していくためには、社協職員の定着性や待遇面を考慮するなど、人材確保が必要であることから、人件費の増額を検討すること。

6 下水道整備事業について

下水道の整備は、全体計画面積1,776haで進められているが、平成26年度末での整備率は、66.9%となっている。市発足当時から年々事業量が減少しているが、快適な住環境のためには下水道は欠くことができないものであるため、整備面積の拡大が図られるよう予算措置に努めること。

7 イベント事業の見直しについて

市全体の各種イベントの検証及び検討を行い、多大な事業予算のコスト削減も含め、費用対効果のない事業の見直しを検討すること。